

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成24年9月27日～平成24年10月2日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
11241	高校生の立場でいうのはなんですが、私は原発に反対です。だからといって今すぐやめろというわけではありません。原発に替わる対策を真剣に考えるべきです。	わたしは原発に反対です。理由はもちろん危ないからです。東日本大震災が起こるまで私たち国民の多くは原発の恐ろしさをよく知りませんでした。それは調べたりすれば知ることが出来たのかもしれませんが、政府が教えるべきだったのではないのでしょうか。そして今回の事故。原発によってたくさんの方が苦しみました。2030年までに原発ゼロを目指すと言っていたにもかかわらず、青森県の核燃料の再処理工場の建設を続行しています。日本は曖昧すぎです。どうなっているのでしょうか。フィリピンではオンカロという施設があります。そこに使用済み核燃料を埋めて100万年埋めておくそうです。日本も外国を見習っていくべきではないのでしょうか。今はオンカロのような案がなく、ただ冷却させていますが、そういう曖昧なことをするから今回の事故が起こったのです。今の大人が残した核燃料廃棄物は、将来の大人である私たち子供にプレゼントされてしまうということ、考えてほしいです。原発反対と上記で述べましたが、今すぐというわけではありません。これから原子力に替わる新しいものをみんなで考えなくてはならないと思います。そして政府は私たちにはしっかりとした対応を見せてほしいです。
11242	新大綱策定会議の廃止後、従来この会議が担ってきた役割はどこが継承するのでしょうか。	第43回原子力委員会の議題に「新大綱策定会議の廃止について」が挙げられておりますが、廃止後原子力にかかわる「国の施策の基本的な方向性」についてはどこで検討とりまとめが行われるのでしょうか。エネルギー・環境会議がこれを行うとの話もあるようですが、特に昨今の変革期にあって、原子力分野の実務に即した状況把握や関係各機関の意見集約等について本当にこれで十分とお考えでしょうか。
11243	原子力技術者の行く末、海外流出問題について	今後、原子力技術者の育成はされないのでしょうか？ また、既存の技術者の方々の不安を払拭しないと、多額の条件で中国・韓国からの引き抜きで技術が全て流出してしまいます。  軍事転用の目的は明らかであり、日本の信用が失墜します。 私自身、原子力は電力以外でも必ず必要になると確信しています。 今後さらに技術者の未来を担保すべきだと考えます。  防衛の観点からも申し上げて、原子力は単に日本国内だけの問題ではありません。 近隣の脅威を念頭に、原子力技術を固持する姿勢が大事であると思います。